

第 1 1 回 (2021 年度第 1 回) 支部幹部会議事録

JCI 四国支部

1. 日 時 2022 年 1 月 13 日 (木) 15 時 00 分～16 時 40 分
2. 場 所 香川県生コンクリート工業組合 (Web 会議)
3. 出席者 橋本親典, 上田隆雄, 氏家勲, 大内雅博, 岡崎慎一郎, 武田融昌, 藤井禎
古田満広, 横井克則, 渡辺健, 堀井克章
(委員会報告者) 河合慶有, 尾寄秀典
(事務局) 新居宏美 (計 14 名)

4. 配付資料

- 資料 1 第 10 回支部幹部会議事録【確定版】
- 資料 2 2021 年度事業報告 (案) 12 月末現在
- 資料 3 令和 3 年度 四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会 委員一覧
- 資料 4 令和 3 年度第 1 回 四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会議事録
- 資料 5 コンクリート関連企業への就職者数調査
- 資料 6 四国の生コン技術力活性化委員会【第 5 期】活動報告
- 資料 7 材料分離が生じたコンクリート中の鉄筋腐食性状の評価委員会議事録 (2021 年度第 1 回)
- 資料 8 材料分離が生じたコンクリート中の鉄筋腐食性状の評価委員会議事録 (2021 年度第 2 回)
- 資料 9 コンクリートに関する技術情報交換会 (ZOOM 会議) 開催のご案内
- 資料 10 第 14 回コンクリート甲子園 本選集計表(最終結果)
- 資料 11 2021 年度収支決算 (案) 12 月末現在
- 資料 12 2022 年 1 月～3 月の収支予定
- 資料 13 2022 年度事業計画 (案)
- 資料 14 2022 年度収支予算 (案)
- 資料 15 2021 年度支部執行部
- 資料 16 支部規程
- 資料 17 支部執行部候補者推薦委員会規程

5. 審議事項

橋本支部長より支部幹部会開催に当たり挨拶があり, その後, 各議題について審議が行われた。審議結果は, 以下のとおり。

(1) 第 10 回支部幹部会議事録の確認 (資料 1)

事務局より, 第 10 回支部幹部会議事録は昨年 4 月の支部執行委員会で確認され, 支部 HP に掲載済であることが報告された。

- (2) 2021 年度事業報告 (12 月末) および収支決算案 (12 月末) について (資料 2~12)
- ・ 2021 年 12 月 4 日に開催された「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会 (Web 会議)」について、尾寄幹事長より以下のとおり報告がなされた。

①委員が一部変更になった。②令和 4 年度モデル活動校として徳島県立つるぎ高等学校が推薦された。③モデル活動校の支援額として今年度と同額の 15 万円を要望する。④次回から事務局が多度津高等学校から変更になるのでコンクリート甲子園実行委員会への補助金は停止するが、その代替として予選に出場する四国内の学校に総額で 10 万円を支援する。⑤コンクリート関連企業への就職者数調査結果を確認した。⑥委員会開催日を 12 月から 8 月頃に変更し、ZOOM 会議形式を基本とする。⑦尾寄幹事長が退任し、令和 4 年度から高知高専の近藤先生が就任する。

提案・要望事項について審議した結果、モデル活動校支援額 15 万円が承認された。また、コンクリート甲子園予選出場校への支援については、予選出場を申請した学校に対し文書で支援制度について周知し、1 校当たりの支援額の上限を 2 万円とすることが承認された。

- ・ 古田幹事より「四国の生コン技術力活性化委員会【第 5 期】」について、4 グループの研究テーマ、2021 年度活動実績と予定等について報告がなされた。
- ・ 「材料分離が生じたコンクリート中の鉄筋腐食性状の評価委員会」について、河合委員長より委員会を 5 月にオンラインで 1 回、12 月に対面式で 1 回開催したこと、3 月に開催予定の 2021 年度第 3 回委員会までに報告書 (案) を各担当者が作成すること等が報告された。また、3 月の委員会を対面式で予定しているがコロナ感染拡大によりオンライン方式に変更した場合、委員の旅費等が残金になる可能性が報告され、その処置について 3 月末までに残金はすべて支部へ返金することが確認された。
- ・ 岡崎幹事より「四国における新設コンクリート構造物の品質確保の実践に関する研究委員会 (第 2 期目)」の取り組み状況について、自身が委員長就任予定であること、2021 年度中に 1 回目の委員会を開催できるよう準備していること等が報告された。
- ・ 岡崎幹事より「四国における新設コンクリート構造物の品質確保の実践に関する研究委員会」の成果報告会の準備進捗状況について、報告書はほぼ完成していること、オンデマンド型のオンライン講習会の開催時期はまだ決まっていないこと等が報告された。
- ・ 古田幹事より「生コンセミナー i n 香川」について、3 月から 7 月に延期し対面式で開催する方針が報告された。
- ・ 橋本支部長より「コンクリートに関する技術情報交換会 (Web 会議)」について、8 月に試行し、11 月に 1 回目開催し申込者 40 名、当日の聴講者 30 名であったこと、1 月 26 日に 2 回目を予定していることが報告された。また、2 回目の技術情報交換会への ZOOM 会議の招待メールを、新たな申込者に加え 1 回目の申込者全員に送信することが確認された。
- ・ 事務局より 2022 年 1 月~3 月の収支予定を加えた 2021 年度暫定収支決算について、支

部の預金高が大きいため 2021 年 7 月に本部へ 800,000 円預託したこと、2021 年度も活動が少なく本部への返金を除き 2022 年 3 月末の繰越金予定を 1,809,595 円とすることが報告された。

(3) 2022 年度事業計画案および収支予算案について (資料 13, 14)

事務局より 2022 年度事業計画案および収支予算案について説明があり、以下のとおり確認した。また、1 月 31 日開催の支部執行委員会に本案を諮り最終決定し本部へ報告することが確認された。

① 2022 年度事業計画案について

- ・ 支部幹部会を対面で 2 回開催する。
- ・ 2021 年度活動報告・収支決算および 2022 年度活動計画案・収支予算案を報告するため、ZOOM 会議のオンライン方式で第 12 回支部執行委員会を開催する。候補日を内部監査実施後の 4 月 25 日～27 日、5 月 10 日～13 日とし、メールにおいて調整する。また、2023 年 1 月下旬に対面で第 13 回支部執行委員会を開催する。
- ・ 内部監査を以下のとおり対面で実施する。
日 時：2022 年 4 月 9 日 (土) 11 時 00 分～
場 所：香川県生コンクリート工業組合
出席者：橋本支部長、堀井検査役、事務局
- ・ 総会
コロナ禍のため、対面式の総会は開催しない。なお、第 12 回支部執行委員会承認後に 2021 年度活動報告・収支決算および 2022 年度活動計画案・収支予算案等を総会資料として HP へ掲載し活動内容を周知する。
- ・ 研究委員会は常設 1 件、継続 1 件 (四国の生コン技術力活性化委員会【第 5 期】の 3 年目) が確認された。また、「四国における新設コンクリート構造物の品質確保の実践に関する研究委員会 (第 2 期目)」の活動スタートが 2021 年度であった場合は継続扱いとし、2022 年度であった場合は新規扱いとすることが確認された。
- ・ 「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」の活動を、第 12 回支部執行委員会において報告し、発表用の ppt スライドを支部 HP で公開することが承認された。
内容：多度津高校 (モデル校) の取り組みおよび第 14 回コンクリート甲子園について
報告者：尾寄先生 (多度津高校)
- ・ 2021 年度に開催予定である「四国における新設コンクリート構造物の品質確保の実践に関する研究委員会」の成果報告会ができない場合は、2022 年度中に開催する。
- ・ 「四国の生コン技術力活性化委員会【第 5 期】」の成果報告会および活動 10 周年記念講演会を 2023 年 3 月頃に開催する。
- ・ 2021 年度に開催できなかった「生コンセミナー i n 香川」を共済事業として 7 月頃開催する。また、「生コンセミナー i n 高知」は当初の予定どおり 2022 年度に共催する。

- ・ 2021 年度にスタートした「コンクリートに関する技術情報交換会（Web 会議）」を 2022 年度上半期と下半期に 1 回ずつ開催する。日程および話題提供者の人は橋本支部長に一任する。
- ・ コンクリート甲子園の事務局が多度津高校でなくなったため、第 15 回コンクリート甲子園の後援は辞退する。

② 2022 年度収支予算案について

本日の審議結果に基づき、見直し整備し 1 月 31 日の支部執行委員会に報告することが確認された。主な修正は以下のとおり。

- ・ 前期繰越収支差額を 2022 年 1 月～3 月の支出を含めた額とする。
- ・ 研究委員会の予算として通常の委員会は 500,000 円（2 件×250,000 円/件）、「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」は、活動モデル校への支援 150,000 円にコンクリート甲子園予選出場校への支援 160,000 円（8 校×20,000 円/校）を加え 310,000 円計上する。なお、「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」の会議費は Web 会議を基本とするため計上しない。

（4）2022 年度四国支部執行部について（資料 15～17）

直前に開催された支部執行部候補者推薦委員会の審議結果について渡辺委員より報告があり、橋本支部長に答申したことが確認された。また、3 名の支部幹事（大内、古田、横井）より再任が承諾された。

（5）JCI 年次大会 2024（高松）

事務局より年次大会 2024 の日程（2024 年 7 月 3 日～5 日）について報告があった。また、本部において 2 月に開催される年次大会に関する会議に上田副支部長が出席予定であり、その内容について、次々回の支部執行委員会で報告することが確認された。

（6）その他

2020 年 9 月に報告会が開催された「コンクリートの品質向上を目指した CUS 利用普及のための技術研究委員会」の成果報告書について、橋本支部長より公表から 1 年が経過しているので支部 HP にアップしてはとの提案がなされ、1 月 31 日の支部執行委員会において最終決定することが確認された。公開時期は、2 月 1 日とする。なお、HP に公開された場合は、成果報告書（DVD）の販売は中止する。

以上

（記録者：古田 満広）